

第1号様式（第3条関係）

年 月 日

青森県産業技術センター畜産研究所長 殿

住所  
申請者 名称  
代表者氏名

肉用牛人工授精用凍結精液製造依頼申請書

下記の種雄牛について、畜産研究所において行う肉用牛人工授精用凍結精液の採取及び凍結処理を依頼したいから、種雄牛調書を添えて申請します。

記

- 1 品種及び名号
- 2 生年月日
- 3 凍結精液製造依頼期間 年 月 日から 日間  
年 月 日まで
- 4 凍結精液製造依頼本数 本
- 5 精液保管場所（家畜改良増殖法第24条に規定する家畜人工授精所名）
- 6 凍結精液の利用計画

地域名					
区分					
繁殖雌牛頭数					
種雄牛配置頭数					
凍結精液供用対象雌牛頭数					
人工授精師名					

注1 地域名は、市町村ごとに記入すること。

2 繁殖雌牛頭数及び種雄牛配置頭数は、凍結精液製造を依頼する種雄牛と同品種の牛について記入すること。

3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。

第2号様式（第3条関係）

種雄牛調書

- 1 名号 (登録番号 )
- 2 生年月日
- 3 供用実績

供用年次	年	年	年	年	年
供用方法及び場所					
種付け又は人工授精供用雌牛頭数					
生産頭数					

注 供用方法は、牧牛、引きつけ種付け、人工授精の区分とし、場所は、放牧場又は飼養場所を記入すること。

- 4 産肉能力検定区分及び成績
- (1) 直接法
- (2) 間接法
- 5 所有者及び産地
- 6 概況
- (1) 測尺

部位	体高	十字部高	体長	胸囲	胸深	胸幅
測尺年月日						
年 月 日						

尻長	腰角幅	かん幅	坐骨幅	管囲	体重	摘要

- (2) 体型の概況
- (3) 生産子牛の状況
- 7 飼養管理場所及び飼育管理人
- 注1 家畜改良増殖法第32条の2第3項に規定する登録機関の発行する登録証明書及び同法第4条第1項に規定する種畜証明書の写しを添付すること。
- 2 依頼する肉用牛が自己の所有でないときは、使用する権利を有することを証する書類を添付すること。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4縦長とする。